

(3) 各活動・取組に関する詳細 ※記載必須

各活動・取組に関する詳細	
*各取組内容を詳細に記載ください。なお、取組については現時点の達成度に限らず、将来的な展望や今後目指す展開についても必ず記入してください。	
取組 1	取組の詳細 沖縄黒糖を使用したオリジナル商品を沖縄県内のセブンイレブン店舗にて販売。 商品の企画によっては全国のセブンイレブン店舗にて販売する体制を構築し、沖縄黒糖の地産地消、消費量拡大を図る
	取組において、 現時点で実施／決定していること 沖縄黒糖を使用した商品のアイテム数の増加の検討
	取組において、 今後予定していること 継続して販売している沖縄黒糖を使用した商品（パン、デザートなど）のアイテム数の増加 全国のセブンイレブンと連携して全国での「沖縄フェア」開催に向けての打合せ
	KPIにする指標の設定理由、 目標値の妥当性、指標の計測方法 2年後の沖縄県内セブンイレブン店舗数見込み：215店、2023年8月末現在沖縄県内セブンイレブン店舗数：161店舗、伸長率133.5% 現時点の沖縄県内黒糖販売アイテム数・消費量を100として、2年後の沖縄黒糖消費量を店舗増加率以上の135%以上と設定する。
	取組を推進する体制 沖縄県内の生産者・製造者・沖縄県黒砂糖協同組合、沖縄黒糖サミット運営事務局・沖縄県と連携し、沖縄黒糖の需要拡大に向けた取り組みを強化する。
取組 2	取組の詳細 市民生活に最も近い小売業として、身近にできる取組みを出前事業や体験学習の場を提供する。
	取組において、 現時点で実施／決定していること 県内高校への職業人講話を定期的実施中。沖縄県内の高校に対し、職業人講話として、社会人としての心得やセブンイレブンの体制説明、今後出してほしい商品の意見を聞いたりしている。過去、今後出してほしい商品の意見を受けて、一部店舗で商品化したものもある。 また、小中学生向けの体験入店受け入れを実施するほか、エリア内セブンイレブンから学校に赴いてセブンイレブンについての説明、日々の業務の内容、納品から発注までの説明などを行っている。
	取組において、 今後予定していること これまでの取組に加え、社内外の協力企業と共に環境取組み施設の見学会、体験会の実施。職業人講話の講師の拡大を検討し、取組の拡大を目指す。
	KPIにする指標の設定理由、 目標値の妥当性、指標の計測方法 月1回の頻度で実施。
	取組を推進する体制 各教育委員会との連携強化。 また、他企業が開催する体験学習と連携して同時に学習することも想定。
取組 3	取組の詳細 セブンイレブン店舗へ廃ペットボトル回収機を設置し、お客様を含めた県民全体で参加型のリサイクルを実施。回収されたペットボトルをペットボトルに再生させ、資源として循環させる「ボトルtoボトル」を推進する。
	取組において、 現時点で実施／決定していること 県内に85台の回収機を設置（2023年8月時点）、沖縄県、第十一管区海上保安庁の後援をいただき、回収促進ポスターを設置。
	取組において、 今後予定していること 2025年を目標に100台まで拠点拡大することで、更なる事業の認知拡大、積極的なリサイクルの推進を目標とする。
	KPIにする指標の設定理由、 目標値の妥当性、指標の計測方法 回収機85台⇒100台まで増設、活動の認知により総回収本数を2023年を起点とし、2025年までに150%を目標とする。（店舗数増加及び活動認知率の上昇を踏まえた目標設定） 回収機に集計機能がついており、これにより回収した本数を把握することが可能。
	取組を推進する体制 既存の設置加盟店舗、収集運搬業者（リサイクル業者）だけでなく、後援団体、ボランティア団体等との連携強化により体制を構築する。